

第32回 歴史&ハイキング愛好会例会 実施報告書

「巨大物流ターミナル見学」

当番世話人 小口 健一郎

7月20日JR品川駅に16名が参集、蒸し暑い中15分ほど上り坂を歩き、大汗をかいたところで冷房完備の「味の素・食とくらしの小さな博物館」に到着、展示室では私たちが子供のころ慣れ親しんだ昭和20～30年代の居間の再現などもありちょっぴり童心に戻った気分。次の「物流博物館」では、物流の今昔のビデオ視聴後、現代の物流展示室では職員より丁寧な説明を受けました

陸・海・空の物流ターミナルの一日を垣間見ることのできる大きな模型や物流体験コーナーなど子供が楽しめる展示もあり、孫の夏休みの自由研究にいいなあとつぶやく人も。

品川駅に戻り、牧田さんも加わった総勢17名で京急穴守稲荷へ。堤防に穴が開かないように田畑を守る神として祀られたという穴守稲荷神社に参拝、昼食のあと今日のメイン目的であるヤマト運輸「羽田クロノゲート」へ向かいました。

羽田クロノゲートでは案内嬢に引率され、見学者ホールでの説明及びビデオ視聴の後、実際に荷物が目の前を流れていく様子を空中回廊から見学しました。高速で川のように流れる本流のベルトコンベアに向かって、いくつもの荷物を抱えた沢山の支流のベルトコンベアから荷物が指定された場所に合流し、さらに下流では配達先の地域ごとに分かれたベルトコンベアに振り分けられていく様は圧巻で、1時間に最大4.8万個の荷物を仕分けするという説明にも成程と合点がいくものでした。他に集中管理室、展示ホール等を見学し最後にお土産までいただいて1時間半近くの見学を終えました。物流博物館で事前に知識を得ていたせいもあり非常によく理解が出来ました。

穴守稲荷駅で解散した後13名の参加で反省会へ。ビールで乾杯の後1時間半ほど懇親を深めました。

☆ JR品川駅 中央改札口で、小口世話人から行程案内



☆味の素・食とくらしの小さな博物館





★ 物流会館





ヤマト物流 羽田クロノゲート前で

参加者（敬称略） 17名

岩崎正憲、小澤敏宣、川股賢三、木頃勝紀、白岩仙一、住田勝治、田代 周、西長義方、
野田 佑、平木行雄、牧田賢二、山田昌之、湯浅尋夫、宮地秀幸、宮武 亨、六角 學、
小口健一郎